

平成27年度 第2回 白山市環境審議会議事録

1. 日時

平成27年9月25日(金) 午前10時～午前11時50分

2. 場所

白山市役所 402 会議室

3. 出席者

会長	中里 茂	環境カウンセラー
委員	伊川あけみ	石川県石川中央保健福祉センター所長
	黒田 晃	石川県石川農林総合事務所長
	北野 澄江	元石川県地球温暖化防止活動推進員
	清水 豊治	かが森林組合上席理事
	森 政人	経済団体推薦（鶴来商工会推薦）
	出藏 智子	はりんこ塾推薦
	湊 義昌	金沢家庭裁判所家事調停委員（公募）
	高島 陽子	主婦（公募）

事務局

竹内 茂	白山市市民生活部長
金谷 宏樹	白山市市民生活部環境課長
北 通雄	白山市市民生活部環境課課長補佐
山田 雅一	白山市市民生活部環境課課長補佐
中出 幸一	白山市市民生活部環境課係長
佐藤 利憲	白山市市民生活部環境課係長
瀬戸 鉄平	白山市市民生活部環境課主査

庁内ワーキンググループ

(欠席者)

中出喜美子 小学校PTA推薦（有）エステル代表

4. 次第

1. 開会

2. 部長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 議件

(1)環境基本計画書の構成変更箇所について

①構成の変更

②取組項目におけるレイアウトの変更

③体系図の追加

(2)現況・課題・目標について

(3)その他

5. 閉会

5. 会議の概要

1. 開会

○司会(金谷課長)

定刻になりましたので、只今より平成27年度第2回白山市環境審議会を開催致します。

始めに、竹内市民生活部長より挨拶を申し上げます。

2. 部長挨拶

○竹内部長

おはようございます。本日は委員の皆様にご出席をいただきましてありがとうございます。また、日頃から市政の環境問題にご指導いただきましてありがとうございます。

昨年の審議会では広島の土砂災害についてあいさつで述べましたが、今年も異常気象の発生により、北関東では局地的な豪雨により鬼怒川が氾濫し甚大な被害を受けております。

避難生活をされている方には心よりお悔やみを申し上げたいと思います。日常生活で使用していた家具や家電製品がごみとなって処分しなければならなくなるなど自然の驚異を感じざるを得ません。人ごとと捉えるのではなく、もしもに備える気持ちを思い起こしていただけたらと思います。

これらは地球温暖化の影響による異常気象であることも想定されますが、発生する環境問題についてもこれからの大きな課題として取り組んでいかなければならないと考えております。

本日はこれから10年先を見据えて、市の環境に対して忌憚のないご意見をいただきますようお願い致します。

○司会(環境課長)

ありがとうございました。

本日、中出委員は予め欠席の連絡を頂いております。委員10名の内、9名の出席を頂いておりますので、白山市環境基本条例第13条第3項の規定により本審議会が成立していることを報告させていただきます。

この会議は原則公開ということになっております。また、第3次白山市環境基本計画支援業務を担当しますアルスコンサルタンツの方にも同席していただきますので、よろしく申し上げます。

それでは、環境基本条例第13条第1項の規定に基づき、会長が議事を運営することとなっておりますので、中里会長よろしく申し上げます。

3. 会長あいさつ

●会長

例年ですと9月は残暑が厳しいですが、今年は涼しく、四季が失われてきたのかなと感じます。

前回の審議会で諮問を受け、今回は具体的な施策・取り組みの大筋ができましたので、委員の方の忌憚のないご意見をお願いします。

では、構成変更箇所について事務局より説明をお願いします。

4. 議件

○事務局

始めに、前回の審議会で北野委員より質問があり保留となっていた件について回答致します。

“良好なまちなみ景観を推進する6地区”、“平成27年度中の協定締結にむけた手続きを進めている1地区”については、6地区：松任横町、松任西新町、美川宮前通り、美川新町西町内、鶴来新町通り、白峰H27,1地区：鶴来本町通りの通りです。

●委員

ありがとうございます。

○事務局

－ 資料説明／(1)環境基本計画書の構成変更箇所について －

●会長

ありがとうございました。質問はありませんか。

●委員

「白山ろく」の「ろく」を平仮名にするのは漢字が難しいからですか。「白山麓」で一つの単語だと思いますが。

○事務局

難しいということもありますし、近年の計画書では「白山ろく」の表記になっています。

○事務局

「白山ろく」の表記については、議会でも話題になりました。

地元の方の意見を聞くと、「白山ろく」の表記にして欲しいということもあり、市が出す文書では平仮名の表記にしています。

●会長

表記は平仮名で良いと思います。

変更案について意義はありませんでしょうか。

●一同

異議なし。

●会長

変更については事務局案の通りに進めていただけたらと思います。

続いて議件(2)現況・課題・目標について事務局より説明をお願いします。

○事務局

－ 資料説明／(2)現況・課題・目標について(第1章、第2章)－

<補足説明>

再生可能エネルギーについては、公共施設や市の遊休地などへ再生可能エネルギーの導入を進めて行く立ち位置であり、旗振り役として先導します。

具体的には、来年度、現在建設中の松任小学校第2体育館の屋上に太陽光と、一階に蓄電池を設置する予定です。また、今月、美川地区で民間業者が市の遊休地(約2万m²)において太陽光発電を稼働開始しています。河内地内でも民間業者が小水力発電を建設中であります。

議会で白山市の地下水について質問がありました。一つ目はキリンビール跡地にジャパンディスプレイの創業を控えていること、二つ目は自噴井戸が止まったことと地下水の因果関係を問う質問です。

地下水の保全に関しては第2次計画でも記載していますが、今回の見直しで地下水に関する記載の修正と検討をしていただけたらと思います。

●会長

ありがとうございました。質問はありませんか。

●委員

P.2 計画策定の背景の記述で、「大量生産、大量消費、大量破棄型」を削除することは同意できますが、第2次計画・第3次計画でも地球環境問題に触れ

ているのでP.14 では過去の経済活動が現在の地球環境に影響を与えているという表現は残した方が良いと思います。

○事務局

ご意見を踏まえ事務局で検討し、次の機会に見ていただきたいと思います。

○委員

構成はすっきりして分かりやすくなったと思います。

取り組み項目でも「～の保全」や「～の充実」など目指すことが明確になり分かりやすいと思います。

前回の審議会でも話題になりましたが、再生可能エネルギーと温暖化問題は繋がると思いますし、今後は再生可能エネルギーの比重が大きくなると思います。

再生可能エネルギーについて白山市ならではの取り組みも記載されていて良いと思います。新聞で能美市は間伐材の使用を行政が支援しているという記事も見ました。

また、フードマイレージなどは10年程前から言われていますが、地産地消についても記載されていて良いと思います。

P.2 計画の背景で2回目の「しかしながら」の記述は、違和感を覚えました。

●委員

第2次計画と比較すると、P.16で有害鳥獣対策をもっと強調しても良いと思います。

石川県側も鹿の被害などが増え、今後ますます白山ろくの保護が大事になってくると思います。

○事務局

担当課である林業水産課と協議し、表現を検討します。

●委員

P.22 白山の火山活動の関係も追記したらどうでしょうか。

●委員

P.20 美川では湧き水が止まった状態です。家庭の水道から錆びが出るなど水が止まったことで影響を受け、水質検査を個人的に行っている方もいます。

手取川の濁りが地下水に影響を及ぼしていると思いますし、水量・水質がかなり変化していると思います。平成25年の調査結果をそのまま記載するのはどうかと思います。

○事務局

資料は地下水ではなく用水や河川の生活排水の調査をしたものであり、地下水と連動したものではありません。

●委員

小松では現在も川が濁っていますが、生活用水とは切り離して考えるのでしょうか。

○事務局

濁りは土砂によるものだと考えられます。

美川地区では水位が50cm下がっただけで井戸が涸れるなど影響が出るようです。

市の調査では50～70cm下がっていると把握していますが、農業用水などへは水量的には影響は出ていません。

●委員

水質や地質に影響はないのでしょうか。

○事務局

地質に影響が出ているかは今のところ不明です。金沢市や能美市も含め手取川扇状地全てを網羅した調査が必要になります。

●委員

第3次計画策定までに調査をし、変更する可能性はあるのでしょうか。

○事務局

資料は地表水の調査について記載されています。地下水について記載するかは時間いただき検討し、どちらを記載するかは今後委員の方にお見せし、適切なものを記載したいと思います。

手取川の濁水が原因で地下水位が下がったかは現在調査中であり、因果関係が正確に掴めていません。一つの要因であることは間違いはないと思いますが、今年は降雨量も非常に少なかったなのでその影響もあると考えられます。

●委員

水質汚染に関してですが、鶴来の最終処分場の水質調査は行っているのでしょうか。

○事務局

最終処分場の機能としては今年の3月で停止しています。環境に関しては広域事務組合で当分の間水質調査を行っていくと聞いています。

●委員

火山活動についてこの計画で記載するのは検討が必要だと思います。

また、環境教育のために現在の環境がどういう状況なのか分かりやすく見えるように「情報の見える化」をもっと強調したら良いと思いました。

○事務局

白山火山は石川県が火山防災計画を策定し、白山市は危機管理課が担当となり避難計画を作成することになっています。

白山市の環境で白山火山は避けられない事案なので、火山の影響についても触れたいと思います。

子供への教育に関してですが、学校教育の現場で太陽光発電や風力発電の発電量が見えるようにしています。市民の方にも分かってもらえるようHPなどで広報をしていきたいと思っています。

●委員

確認ですが、語句は今後反映するのでしょうか。

○事務局

そうです。

●委員

P.6 図表-1.3 は時計回り、P.7 図表-1.5 は反時計回りになっていますが、どちらかに統一した方が良いと思います。

○事務局

時計回りにします。

●委員

鶴来の最終処分場についてですが、新処分場の稼働日と場所はどこなのでしょうか。また、それまでの期間はごみの処分はどうしているのでしょうか。

○事務局

平成29年度中に稼働予定で、場所は松任クリーンセンターの北側(海側)です。現在ごみの処分は県外に搬出しています。

●委員

敷地の大きさはどれ程でしょうか。

○事務局

およそ5haです。

●委員

新処分場のシステムが写真などで見られると良いと思います。

○事務局

新処分場について追記したいと思います。

●会長

P.13 5行目の“発電時に温室効果ガスを排出しない”は“発電時に二酸化炭素を排出しない”の方が一般的だと思います。

また、P.12に“現時点で新たな地球温暖化対策計画は策定されていません”と記載されていますが、COP21で新たな地球温暖化対策計画が示されると思いますが、修正は行うのでしょうか。

○事務局

P.13の表現については検討したいと思います。

P.12については第3次計画の策定時に公表されていれば修正したいと思います。

●会長

わかりました。

次に、第3章計画の具体的な取り組みについて説明をお願いします。

○事務局

－ 資料説明／第3章について －

- P.22 エコパーク移行地域を含めた記述にする。
いしかわ森林環境基金事業は終了する予定なので、その後の施策を含めた記述にする。
- P.24 有害鳥獣対策を強調した記述にする。
- P.26 子供たちの体験活動としてイワナやヒラメ、アユの放流活動を行っているので、その観点からの記述をする。
- P.28 市民目線を加えた記述にする。
- P.31 「～発令がないことを目指す」としているが、ないために何をすべきかを表現する。
- P.32 交通騒音は新幹線についても対象とした記述にする。
- P.34 化学物質の内容についてわかりやすい説明を追記する。
- P.36 白山ろく地域についての記述は、施策11「自然環境整備の促進」に移行する。白峰の重伝建について追記する。
- P.40 いしかわ森林環境基金事業は終了する予定なので、その後の施策を含めた記述にする。
- P.42 金沢大学以外の大学、白峰地区以外の地区でも調査を行っているので、個別の名称は削除する。
- P.44 平成27年度より木質ペレットについても助成を開始している。既に普及しているもの、これから普及させていくものを分けて記載する。
市は旗振り役として事業を先導する。
- P.46 昨年度策定した白山市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の内容を反映した記述にする。
- P.48 法的に認められている野焼きもあることに留意した記述にする。
取り組み項目の整理を行う。
- P.50 図表の埋立残余量は、閉鎖した鶴来清掃センターのことなので削除する。
- P.52 学校版ISO など、子供たちの取り組みを追記する。

●会長

ありがとうございました。質問はありませんか。

●委員

P.44 平成24年以降太陽光発電システムの設置件数が下火になっています

が、原因は何故でしょうか。

○事務局

平成24～26年にかけて電力の買取価格の下落が一つの要因かと思われますし、当初は既存建物の申請が多かったが、今年度は新築建物と既存建物の申請が半々になっています。

また、国の補助金の終了が影響していることも挙げられます。

もう少し分析して今後事業の在り方を検討し、表現したいと思います。

●委員

P.33 苦情を達成指標にしていますが、それは何故でしょうか。苦情と騒音・振動の現状は違うように思います。

○事務局

「苦情が発生しないことを目指す」のではなく、「発生したら迅速に対応する」と変更します。達成指標についてはこれから決めていきます。

●委員

P.36 達成指標の公園面積は、「緑の基本計画」でも記載されていますが、面積よりも管理面での市民の意識向上が重要だと思います。市がしてくれると思いき市民の意識が低いと思います。

景観面では空き家対策が重要だと思います。

●委員

P.45 太陽光発電について他市との比較があれば良いと思います。

○事務局

資料編で記載の検討をします。

○事務局

空き家対策は企画課が担当しており、対策の記述を検討をします。

●委員

P.32、33、34、35 暴走族の騒音や悪臭など、迅速に対応するとありますが、窓口はどこになるかは記載しないのでしょうか。

○事務局

暴走族の騒音については警察になります。悪臭などは市が窓口になりますので、保健所と共に対応します。HP などを通じた広報に努めます。

●会長

P.39 「二酸化炭素の排出量削減」は「温室効果ガスの排出量削減」に変更した方が良いと思います。

P.39 「エネルギーの面的利用」の意味、「紙類の使用に関する取り組み」が温室効果ガス削減にどう繋がるのか意図が分かりません。

フロンガス排出抑制法が制定されたので、啓発する記述が必要と思います。

P.27 ビオトープの創出は、市だけではなく事業者も加えてはどうでしょうか。

●委員

生ごみの減量対策として水切りが大切だと思います。水を含むことで焼却する際に余分なエネルギーが必要になると思うので、これを市民に周知する必要があると思います。

○事務局

P.47 ごみ処理基本計画の策定の際に、ごみの水切りの意見を頂戴しました。それを反映した表現にしたいと思います。

●委員

P.50 最終処分場について市民は全く知りません。ごみを出せばそれで終わると思っており、県外に搬出されていることも知りません。最終処分の内容などの広報を充実してほしいと思います。

○事務局

議会でも広報が足りないという意見があります。

新処分場の経過について広域事務組合と相談しながら開示したいと思います。

●委員

市民が分かりやすい内容で広報、教育をしてもらいたいと思います。

○事務局

10 月にごみ施設見学ツアーを企画していますし、クリーンセンターでもごみに関する研修を行っています。

●会長

ごみの分別は浸透していると思うので、今後はごみの減量化が重点になると思います。

○事務局

計画の期間はこれまで5 年間でしたが、金沢市は10 年、小松市は7 年など近隣市の状況や現在検討中の総合計画をふまえ、平成28 年度から平成38 年度の11 年間とし、目標値は前期目標値として5 年後の平成33 年度にしたいと思っています。

●会長

今後の進め方について説明をお願いします。

○事務局

10 月末にワーキングを開催し、11 月末に審議会を開催したいと考えています。審議会日程は、11 月27 日(金)はどうでしょうか。

●一同

了承。

5. 閉会

●会長

これもちまして第2 回環境審議会を終了します。お疲れ様でした。

(終了 午前11 時50 分)

◇次回日程について

第3 回審議会：11 月27 日(金)午前10 時より

—以上—